

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。) ※うす黄色のマスは今回掲載分の意見	意見掲載日
佐久間・水窪	23	地区によって、順番に隣の茶畑が耕作地でなくなっていく	R2.12.21
佐久間・水窪	23	区協議会でコンパクトシティの話題が出たが、空いた地区はどうしていくのか疑問	R2.12.21
佐久間・水窪	23	この地域は条件的に機械化ができない	R2.12.21
佐久間・水窪	23	浦川地区は平坦で水田が多かったが、今はほとんどがソーラー用地になっている。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	残された農家も茶の価格が低迷している。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	担い手がなく心配だ	R2.12.21
佐久間・水窪	23	担い手、認定農業者少ない	R2.12.21
佐久間・水窪	23	新たな作物、名物になるものがあるとよいのでは	R2.12.21
佐久間・水窪	23	小さい農地や未相続地が問題となってくる	R2.12.21
佐久間・水窪	23	新しい担い手を外から呼び込む、地域内で育成していく必要がある	R2.12.21
佐久間・水窪	23	やはり新しい担い手が必要。山里いきいき隊などの活用も検討	R2.12.21
佐久間・水窪	23	自給農家が多い	R2.12.21
佐久間・水窪	23	人が入れ替わっても継続できる環境づくりが必要	R2.12.21
佐久間・水窪	23	かいこ、こんにやく、茶、葉物と過去から作目に関して工夫してきた	R2.12.21
佐久間・水窪	23	茶に関しては委託するとマイナスになってしまう。茶工場を持っていてぎりぎりの収支	R2.12.21
佐久間・水窪	23	みさくぼじゃがなどの他に在来種が多いため可能性はあるのでは	R2.12.21
佐久間・水窪	23	人口減に伴い野生鳥獣による農作物被害が増加している	R2.12.21
佐久間・水窪	23	今やるべきことは未来にむけた環境の維持	R2.12.21
佐久間・水窪	23	集落農業で個々の離農から集落全体で取り組む必要がある。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	担い手を外から呼び込む	R2.12.21
佐久間・水窪	23	茶園の更新がなく(木が古く)、品質が低下している。	R2.12.21
佐久間・水窪	23	共同工場減少している	R2.12.21
佐久間・水窪	23	農業経営としての農業は極めて少ない	R2.12.21
佐久間・水窪	23	田は自家消費用	R2.12.21
佐久間・水窪	23	荒茶の価格は農協買取で5~6千円→現状は2千円を切っている	R2.12.21
佐久間・水窪	23	青梗菜などの施設野菜にも挑戦したが今はだめである。	R2.12.21